

注意事項

- ・ 質疑応答は、講演の後にまとめておこないます。
- ・ 質問は講演終了までにSlidoに書き込んでください。
- ・ 記録のため、録音・録画します。
- ・ 私的な録音・録画はご遠慮ください。
- ・ セミナー終了後にアンケートへのご協力をお願いいたします。

防災について、アンケート調査結果について

広島大学図書館 村上健治

1. これまでの防災訓練で感じてきた疑問

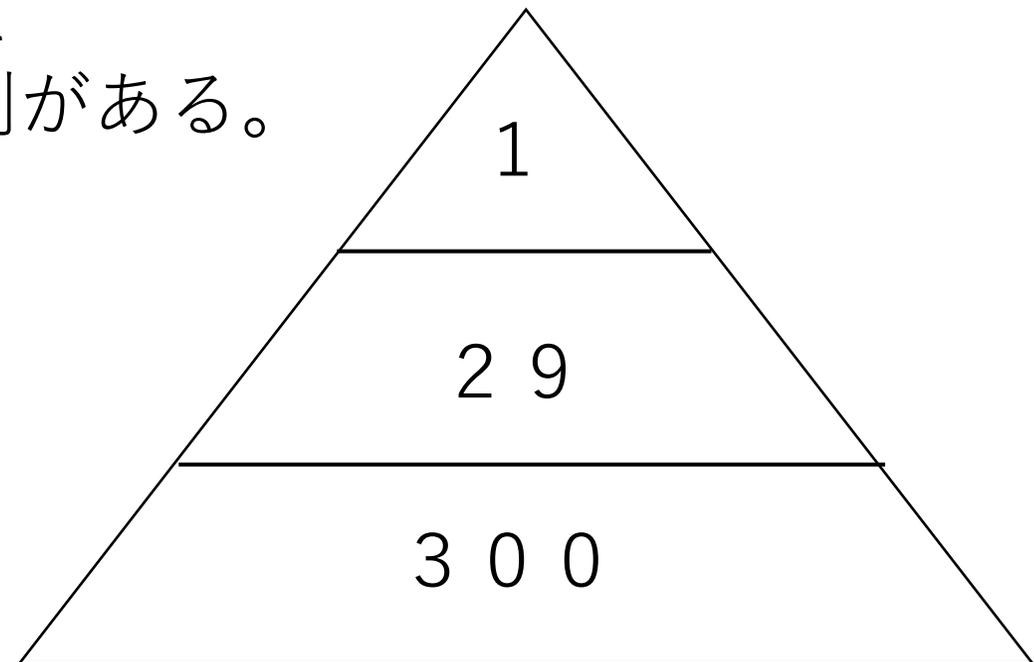
- ・いくつかの大学図書館で勤務したが、それぞれ防災訓練の内容が微妙に違う。
- ・防災訓練の時に必ず持ち出すことになっている「重要書類」とは？

2. これまで（35年ほど）に遭遇した”緊急事態”

- ・救急車： 数回 （自分自身が電話したことはない）
- ・水害・雨漏り： 数回
- ・地震： 2回（1995阪神・淡路大震災、2018大阪府北部地震）
- ・もしかするとボヤになったかもしれない事： 2回
- ・感染症： 1回（新型コロナウイルス感染症）

3. ハインリッヒの法則

- 1 つの重大な事故、災害の背後には
- 29 の軽微な事故・災害と
- 300 のヒヤリ・ハット事例がある。



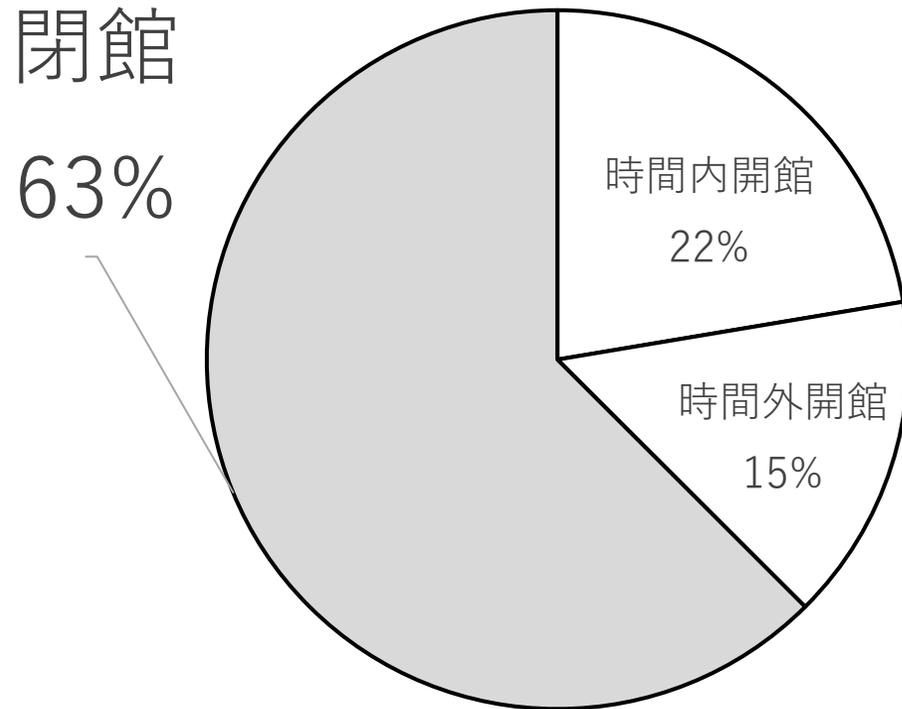
4. 災害はいつ発生する？

- ・ 広島大学図書館（中央図書館）の開館時間

授業期 平日 8：30～22：00 土日祝 10：00～20：00

休業期 平日 8：30～17：00 土日祝 閉館

- ・ （2021年度）年間296日開館 年間開館総時間数 3,286時間



時間内開館	1,958時間
時間外開館	1,328時間
閉館	5,474時間

※緊急事態が発生する時に
全ての職員が職場で勤務し
ているわけではない。

5. 「防災と災害時緊急対策に関するアンケート調査」の比較

- 1995年の調査と2022年の調査を比較した。
 - 対象は国立大学図書館協会（協議会）加盟館
 - 記述式の項目を大幅に削減した。
 - 期間は2022年8月9日から9月20日とした。
- 結果
 - 回収率は大幅に下がった（100% → 71%）。
 - ※1995年は阪神・淡路大震災が起こった年
 - 詳細は資料の通り。

6. 調査結果

- ・ 防災と災害時緊急対策に関するアンケート調査
 - ・ 中央館に該当する館の状況を調査した。
 - ・ 結果は資料の通り。
- ・ 新型コロナウイルス感染症流行の影響に係る調査
 - ・ 中央館以外の取組事例を含む。
 - ・ 結果は資料の通り。
 - ・ 流行を契機に顕著に進展した事例がある。
 - ・ オンラインに対応した多くの事例が寄せられた。